

中心市街地地区

(北海道東川町)

- 計 画 期 間 平成17年度～平成21年度
- 面 積 210ha
- 交付対象事業費 843百万円
- 町人口 7,858人 (地区内人口 4,727人)

ポイント

大雪山の麓に相応しく、東川の歴史、文化を活かし活気のある美しい市街地を再生する。

地区概要

中心市街地の道路、公園、緑化施設を整備。屋内外で利用できる写真展示施設の作成。町内へ観光客を誘導するコミュニティバスの試験運行。

目 標

- ・目標1：大雪山国立公園の麓に位置し緑の田園空間にマッチする美しいまちづくり
- ・目標2：東川町の歴史や文化を生かした個性的で美しいまちづくり
- ・目標3：天人峡・旭岳の二大観光地を擁するにふさわしい活気あるまちづくり

指 標

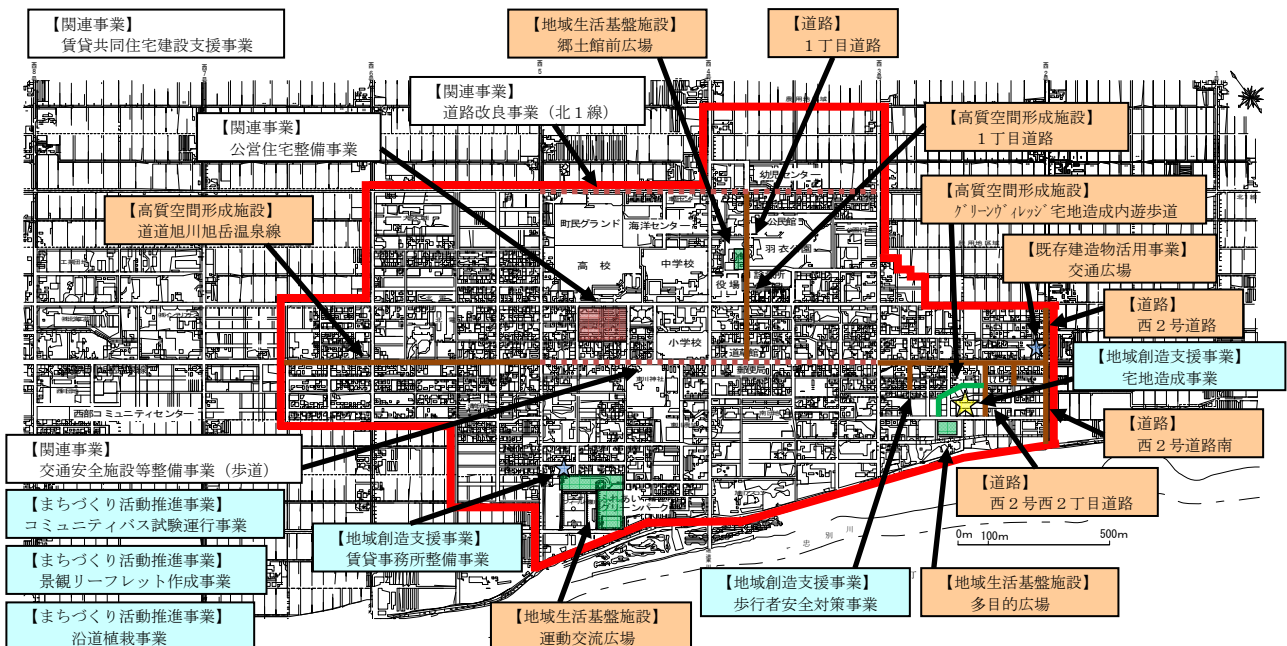
・公共施設整備により良好な居住空間の創出することで定住者の増加を目標とした。また、活気あるまちづくりを推進するためイベントスペースの整備により来町者の誘導を図り、隣接する施設の利用者数を目標とした。

地区内定住人口の増加	3,861人 (H16) → 4,685人 (H21)
道草館の利用者数	37,000人 (H15) → 301,025人 (H21)
文化ギャラリーの来館者数	20,000人 (H15) → 25,786人 (H21)

事業内容

基幹事業 (668百万円) → 道路 (延長 1,010m)、地域生活基盤施設 [多目的広場・郷土館前広場・運動交流広場] (面積 29,812 m²)、高質空間形成施設 [緑化施設] (面積 2,645 m²) (延長 2,262m)、既存建造物活用事業 [交通広場] (面積 3,000 m²)

提案事業 (175百万円) → ストリートギャラリー事業 (写真展示 400 枚)、宅地造成事業 (面積 5ha)、歩行者安全対策事業 (延長 180m)、まちづくり団体支援事業 (賃貸事務所 1 棟)、景観計画リーフレット作成 (10,000 部)、沿道植栽事業 (草花苗、フラワーポット購入)、コミュニティバス試験運行事業



地区の現況と課題

東川町は、大雪山国立公園の玄関口に位置する自然豊かな町です。また、世界で初めて「写真の町」を宣言し、恵まれた自然を守る環境条例を制定、北海道で最初に景観行政団体となるなど、個性的で美しいまちづくりを推進しています。

しかし、近年定住人口の減少や、中心市街地の衰退が進んでいることから、市街地の活性化を図り、良好な居住空間を創出し定住人口を増加させることが課題となっていました。

提案事業の特徴

ストリートギャラリー事業

- ・移動式写真展示台を作成し、写真の町関連の行事を充実させる。

宅地造成事業・歩行者安全対策事業

- ・魅力ある街並みを創出し、緑豊かでゆとりある宅地造成。

景観リーフレット作成事業

- ・町民の景観に対する意識を養い、良好な景観形成を図る。

沿道植栽事業

- ・大雪山国立公園の玄関口として観光客を花いっぱいでお迎えする。
- ・「写真の町」に相応しい、写真映りのよい風景づくり。
- ・町民のボランティア作業により景観づくりの意識を養う。

まちづくりの効果、持続的取組み

- ・景観に配慮した緑化施設、道路整備を行なったことで、魅力ある市街地を創出することができ定住人口の増加に効果があった。
- ・中心市街地の沿道植栽などを持続させ、さらに地域住民の積極的な活動のための拠点となる施設を整備し、より活気あるまちづくりを目指したい。

東川町 松岡市郎町長のコメント

東川町は、日本最大の大雪山国立公園の入り口に位置する自然豊かな町です。また、大雪山の豊かで清らかな伏流水で生活する全国でも珍しい上水道のない町です。一方、中心市街地は高齢化により商工業の衰退、地区内の定住人口の減少などの課題を抱えておりました。このような中、まちづくり交付金を活用し、緑地公園、道路整備等の良好な環境づくりを実施しました。整備後、景観に配慮された魅力ある街並みを創出することができ、定住者が増加しました。

また、市街地に多数の観光客が訪れるようになり、賑わいを徐々に取り戻しています。この度の受賞を契機に、引き続き「写真の町」として写真映りの良い美しい街並みの創出に努力して参ります。

都市計画委員会 鈴木会長のコメント

東川町が抱えている課題は、中心市街地に限らず町全体の課題でもあると思います。この度、まちづくり交付金を活用して整備した公共施設、町民参加で実施した沿道植栽事業等、町の課題を解決する足がかりになったと考えています。整備後、町内外から街並みが綺麗な町だと聞くようになりました。また、写真の町関連イベントが充実したことから、賑わいの創出に効果ができていると感じます。

今後は、さらに定住対策、住民活動の活性化、街並み整備の推進に期待をしています。



▲宅地造成事業

▲郷土館前広場整備



▲道路附帯施設の高質化

▲景観リーフレット作成事業



▲沿道植栽事業
(ボランティアで植栽作業)



▲ストリートギャラリー事業



▲運動交流広場整備



▲交通広場整備 (既存建造物活用事業)



▲まち交による賑わい効果